		相互変調特性
2　1以外の場合	希望波の周波数から（±）九〇〇kHz離れた周波数において、希望波の受信電力より四九デシベル高い変調されない妨害波を加えた場合に、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一％以下	希望波の周波数から（±）九〇〇kHz及び（±）一、七〇〇kHz（複号同順とする。）離れた周波数において、それぞれ移動局シミュレータ出力より七二デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、移動局シミュレータの出力が三デシベル以上昇せず、かつ、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一・五％以下

第二項第二号中「一、七四九・九MHz」を「一、七四四・九MHz」に改め、「又は毎秒三・六八六四メガチップ」を削り、同号の表を次のように改める。

				項目	実効選択度
					スプリアス・レスポンス
特性	基地局		感度	希望波（毎秒九・六キロビットの送信速度の信号で変調された搬送波をいう。以下この表において同じ。）の受信電力が（一）一一九デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の場合に、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一％以下	希望波の周波数から（±）一・二五MHz離れた周波数において、移動局シミュレータの出力より八〇デシベル高い変調のない妨害波を加えた場合に、移動局シミュレータの出力が三デシベル以上昇せず、かつ、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一・五％以下
	陸上移動局			希望波の一・二三MHzの帯域幅における受信電力が（一）一〇四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（一）二五デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の場合に、それぞれ九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が〇・五％以下	搬送波の数が一のものにあつては希望波の周波数から（±）一・二五MHz離れた周波数において、搬送波の数が三のものにあつては当該三の搬送波のうち中心のものの周波数から（±）二・五MHz離れた周波数において、希望波の受信電力（搬送波の数が三のものにあつては、当該三の搬送波の受信電力の総和とする。）より七一デシベル高い変調のない妨害波を加えた場合に、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一％以下

				項目	実効選択度
					隣接チャネル選択度
特性	基地局		感度	希望波（毎秒九・六キロビットの送信速度の信号で変調された搬送波をいう。以下この表において同じ。）の受信電力が（一）一一九デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の場合に、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一％以下	希望波の周波数から（±）二・五MHz離れた周波数において（一）五三デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の変調された妨害波を加えた場合に、移動局シミュレータの出力が（±）九五％以上昇せず、かつ、三デシベル以上の信頼度でフレーム誤り率が一・五％以下
	陸上移動局			希望波の一・二三MHzの帯域幅における受信電力が（一）一〇四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（一）二五デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の場合に、それぞれ九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が〇・五％以下	搬送波の数が一のものにあつては希望波の周波数から（±）二・五MHz離れた周波数において希望波の受信電力を（一）一〇一デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）とした場合に当該受信電力の総和よりも〇デシベル高い変調された妨害波を加えた場合に、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一％以下

第二項第四号中「又は毎秒三・六八六四メガチップ」を削り、同号の表を次のように改める。

		相互変調特性
特性	基地局	希望波の周波数から（±）一・二五MHz及び（±）二・〇五MHz（複号同順とする。）離れた周波数において、それぞれ移動局シミュレータ出力より七〇デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、移動局シミュレータの出力が三デシベル以上昇せず、かつ、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一・五％以下
	陸上移動局	搬送波の数が一のものにあつては希望波の周波数から（±）二・五MHz及び（±）三・三MHz（複号同順とする。）離れた周波数において、搬送波の数が三のものにあつては当該三の搬送波のうち中心のものの周波数から（±）二・五MHz及び（±）三・三MHz（複号同順とする。）離れた周波数において、希望波の受信電力より五八デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、九五％以上の信頼度でフレーム誤り率が一％以下